|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小学校　算数科　単元デザイン | | | | | | | |
| 単元名 | | | | | | 学　年 | １学年 |
| １１　たしざん | | | | | | 児童数 | １９名 |
| 授業者 |  |
| １　単元の目標と観点別評価規準 | | | | | | | |
| １位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し，計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに，計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り，そのよさを感じ，今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。 | | | | | | | |
| 知識・技能 | | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| ・１位数どうしの繰り上がりのある加法計算が，「１０といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し，その計算が確実にできる。 | | | ・１０のまとまりに着目し，１位数どうしの加法計算の仕方を，操作や図を用いて考え，表現している。 | | ・１位数どうしの加法計算の仕方について，「１０といくつ」という数の見方や操作，図などを用いて考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 | | |
| ２　単元で働かせる「見方・考え方」 | | | | | | | |
| 新たな計算を，既に知っている計算で求めることができるよう，数の見方を工夫して解決しようとする。 | | | | | | | |
| ３　単元における「学習課題」 | | | | | | | |
| 【単元の学習課題】  　くりあがりのあるたしざんのしかたをかんがえよう | | | | | | | |
| ４　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた具体的な子どもの姿と手立て | | | | | | | |
| 主体的な学び | | | 対話的な学び | | 深い学び | | |
| 見通しをもつ  課題の解決に向けた自分の思いや願いをもち，進んで解決しようとしている。  ・図やブロックなどを使い，課題を解決する場を設ける。    振り返って次へつなげる  自らの学びに自信をもち，更に学ぶ意欲を高めている。  ・たしざんの知識を生かし，新たな課題に向けて意欲が高まるようにする。 | | | 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明  協働して課題解決する  解決策につながる情報を収集している。  ・必要感のある交流の場の設定をする。  ・ペアや少人数のグループで，学習成果や学びの過程を吟味する場の設定をする。  物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明  多様な手段で説明する  考えの根拠をもって，多様な表現で伝えようしている。  ・必要感のある交流の場の設定をする。 | | 置き時計, 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明  知識・技能を習得する  解決のために，既習事項や経験と重ね合わせたり，つないだりしている。  ・  ・加数分解による計算が確実にできるようにする。  ・１位数どうしの繰り上がりのあるたし算が確実にできるようにする。  物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明  知識・技能を活用する  自分の考えの根拠をもち，その考えを検証したり，最適解を求めたりしている。  ・試行錯誤して問題を解決する場を設ける。 | | |
| ５　単元の指導と評価の計画（全１０時間） | | | | | | | |
| 時間 | 具体的な  子どもの姿 | 学習課題（◆）　主な学習活動（○） | | 評価の観点【】　・評価規準 | | | |
| １ |  | ◆９＋４の計算の仕方を考えよう  ○　既習内容を振り返り，９＋４の計算の仕方を考える。 | | 【態度】  ・既習の加法計算の学習や数の見方を基に，１位数どうしの加法計算の仕方を考えようとしている。(観察) | | | |
| ２ | 標識 が含まれている画像  自動的に生成された説明  置き時計, 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明  物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆９＋４の計算の仕方を説明しよう  ○　操作や図を用いて，計算方法を説明できる。 | | 【思・判・表】  ・「１０といくつ」を活用して操作や図を用いて考え，説明している。(観察)  【知・技】  ・既習の加法計算や「１０といくつ」という数の見方を基にした９＋４などの計算の方法を理解し，その計算ができる。(観察) | | | |
| ３ | 標識 が含まれている画像  自動的に生成された説明  物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆８＋３の計算の仕方を考えよう  ○　被加数が８や７の場合の計算の仕方を考える。 | | 【思・判・表】  ・「１０といくつ」を活用して操作や図を用いて考え，説明している。(観察) | | | |
| ４ | 物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆さんすうはかせになろう  ○　計算練習や文章問題に取り組む。 | | 【思・判・表】  ・被加数が８～６の場合でも，１０のまとまりをつくって計算すればよいことを考え，説明している。(観察)  【知・技】  ・加数分解による計算が確実にできる。  (観察) | | | |
| ５ |  | ◆３＋９計算の仕方を考えよう  ○　３＋９の計算の仕方を考える。 | | 【思・判・表】  ・被加数，加数の大小に関係なく，１０のまとまりをつくることに着目して計算の仕方を考え，操作や図などによって説明している。(観察) | | | |
| ６ | 物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆さんすうスーパーはかせになろう  ○　計算練習や文章問題に取り組む。 | | 【知・技】  ・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算は，１０のまとまりをつくればよいことを理解し，その計算ができる。  　(観察) | | | |
| ７～９ | 物体 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆カード使ってひみつをみつけよう  ○　計算カードを用いて，繰り上がりのある１位数どうしの加法計算の練習をする。  ○　同じ答えのカードを選んだり，数の並び方の規則性を見付けたりする。 | | 【知・技】  ・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が確実にできる。(観察)  【思・判・表】  ・計算カードの並び方について，被加数が1増えると1減る，という関数的な見方に気づき，数の関係を説明している。(観察) | | | |
| １０ | 物体, 置き時計 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ◆学習をふりかえろう  ○　学習内容の習熟・定着（たしかめよう） | | 【思・判・表】  ・単元の学習を活用して，問題の解決の仕方を考え，説明している。(観察)  【知・技】  ・基本的な問題を解決することができる。(観察)  【態度】  ・単元の学習で考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じている。  (観察) | | | |